shindaiwa®

取扱説明書

エンジンポンプ

GPF4001-GP
GPF5001-GP

目　次	頁
1. 安全上の注意	1
2. 各部の名称	3
3. 仕様・性能曲線	4
4. ご使用になる前に	5
5. 使用方法	7
6. 使用後の注意	8
7. 症状および原因と対処	9

⚠ 注意：安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書と同梱のエンジンの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもご覧いただけるよう、大切に保管してください。

1. 安全上の注意

＊ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は次のように区分しています。
＊誤った使い方をした時に生じる危険や損害の程度を次の表示で「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。

⚠**危険**：人が死亡または重傷などを負う可能性が高いと想定される内容です。

⚠**警告**：人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。

⚠**注意**：人が損傷を負う可能性及び物的損傷の発生が想定される内容です。

〈注意〉：その他の注意事項。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠危険

- 料補給時など燃料取扱時には火気厳禁。燃料に引火、火災の危険があります。
- エンジンポンプを室内および換気の悪い所では運転しないでください。
  エンジンの排気ガス中には、有害な物質が含まれており、ガス中毒を起こす危険があります。
- エンジンポンプを井戸や、くぼ地の脇などで運転される場合は井戸や、くぼ地に入らないでください。
  エンジンの排気ガスが井戸やくぼ地に流れ込み、ガス中毒を起こす危険があります。
- エンジンポンプを傾斜地で使用しないでください。
  燃料タンクキャップや気化器から燃料がこぼれ、火災の原因となります。
- マフラー付近に障害物を置かないでください。

⚠警告

- 本取扱説明書を理解していない人は、ポンプの操作を行わないでください。
- ポンプに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転してください。

- 修理技術者以外の人は、取説記載内容以外の分解や修理は絶対に行わないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

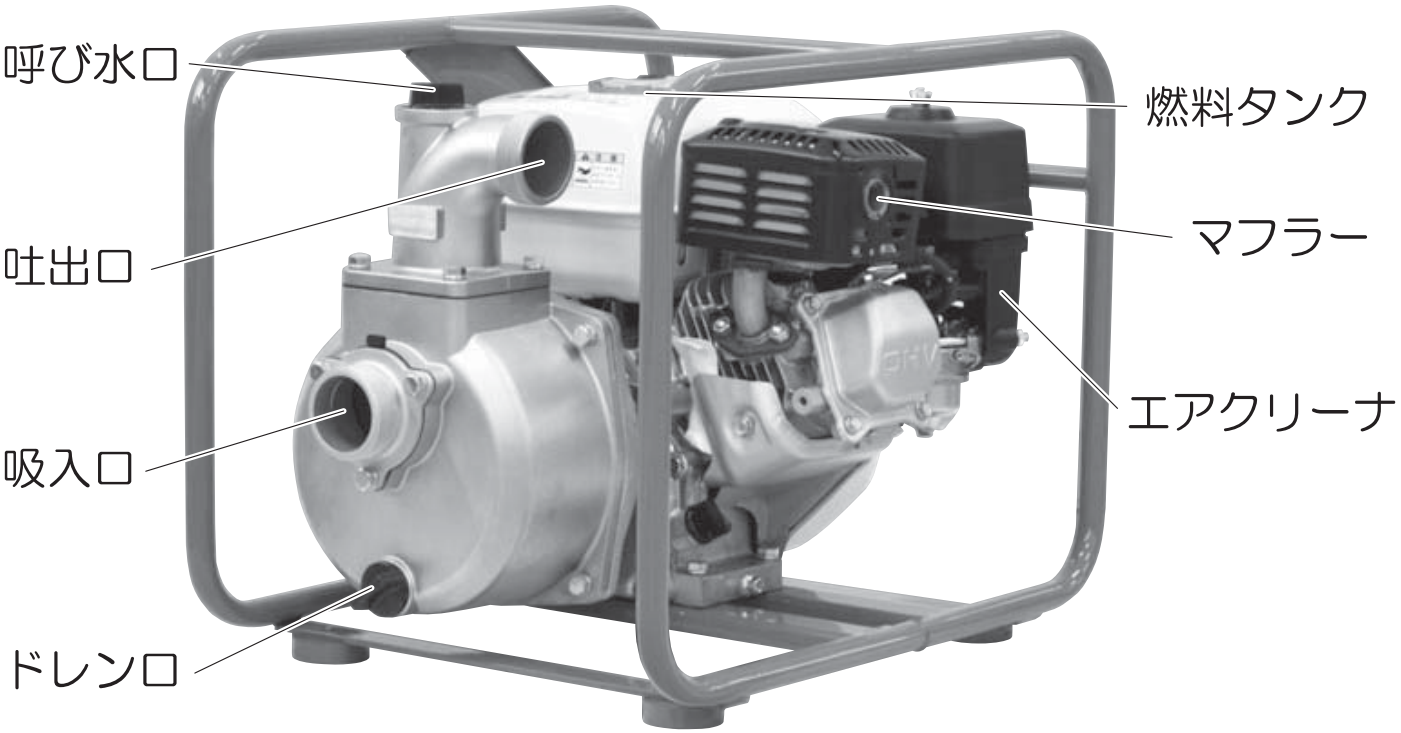
- 火傷の恐れがありますので、熱くなっているマフラーやエンジン各部をさわらないでください。
- このポンプを清水または、農業用水以外に使用しないでください。
  使用できないもの：飲料水・泥水・海水・灯油・軽油・重油・ガソリン・薬品・酸性／アルカリ性の液体等。
- 吸入側ホースは必ずサクションホース（市販品）を使用してください。
- 使用口径・使用長さにあったホースを当社販売店でお買い求めください。
- 吸入・吐出ホースをポンプに接続する際は、製品付属のカップリング、ホースバンドを使用し確実に取り付けてください。

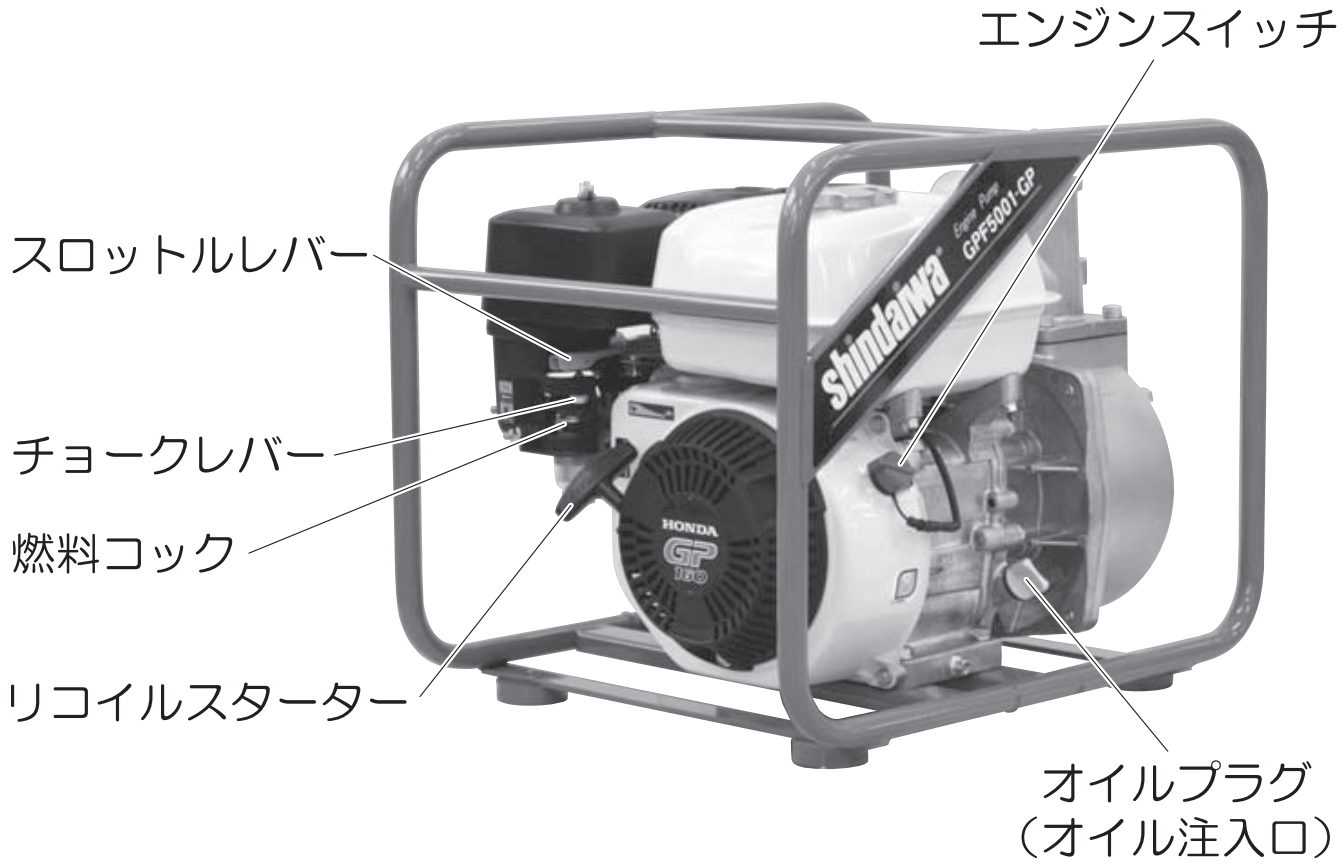
〈注意〉

- ポンプ使用液温度は5℃以上45℃以下の範囲で使用してください。範囲外で使用されますとポンプの破損につながります。
- 空運転（ポンプ内に水のない状態での運転）はしないでください。ポンプ破損の原因になります。

本取扱説明書で示す重要な安全指示事項は起こりうる全ての状態を表しているものではありません。運転する方や保守をする方は安全には十分な注意と配慮をしてください。

2. 各部の名称


呼び水口
燃料タンク
吐出口
マフラー
エアクリーナ
吸入口
ドレン口

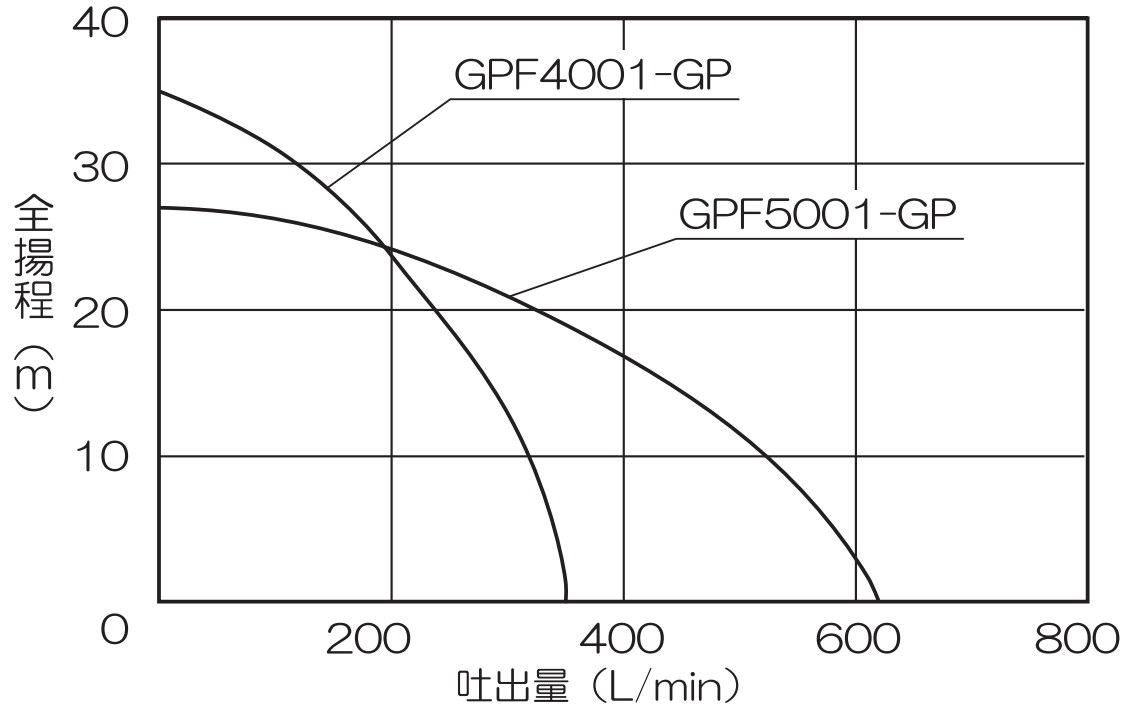

エンジンスイッチ
スロットルレバー
チョークレバー
燃料コック
リコイルスターター
オイルプラグ
（オイル注入口）
shindaiwa
GPF5001-GP
HONDA

3. 仕様・性能曲線

仕様

		GPF4001-GP	GPF5001-GP
ポンプ	吸入・吐出口径	40mm(G1 1/2")	50mm(G2")
	接続ネジ	管用平行ネジ(Gネジ)	
	全揚程	35m	27m
	最大吐出量	350L/min	620L/min
エンジン	型式	強制空冷4サイクルガソリンエンジン ホンダGP160	
	排気量	163ml	
	定格出力	2.9kW（3.9PS）/3600rpm	
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン	
	タンク容量	3.1L	
	連続運転時間	約2.5時間	約2.2時間
	始動方式	リコイルスターター式	
本体乾燥質量		25.5kg	24.1kg
標準付属品		ストレーナー 1個 ワンタッチカップリングセット 2個 ホースバンド 3個	

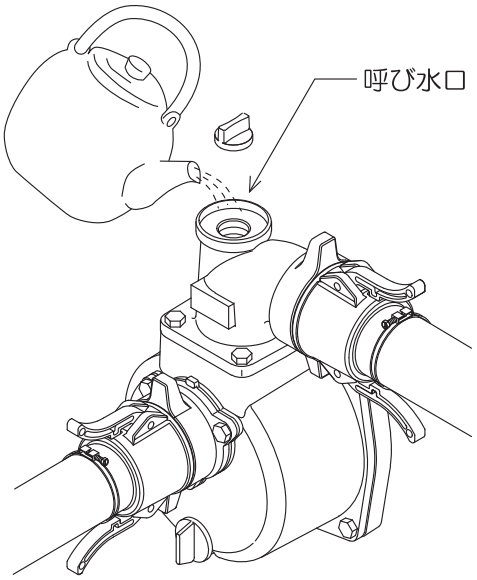
性能曲線



4. ご使用になる前に

① 呼び水は忘れずに

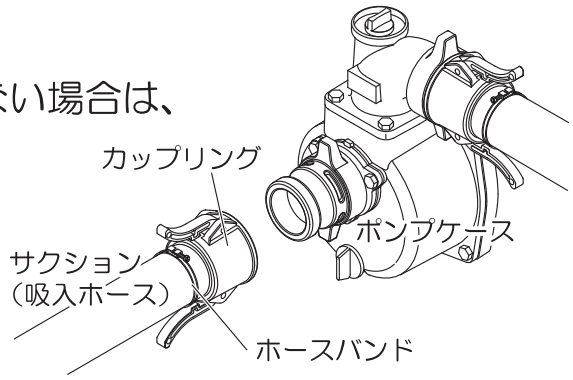
このポンプは自吸式ですので、運転前には必ず呼び水口より水を注入して、ポンプ内を満水の状態にしてください。
呼び水が不足すると、自吸性能が低下します。



〈注意〉	**呼び水を入れずに運転されるとシール部分が焼損し、ポンプが自吸しなくなります。**

② 吸入ホースの接続は確実に

呼び水口より水を注入し、運転して揚水しない場合は、ほとんど吸入ホースの接続不良が原因で、吸入側から空気が混入して揚水しません。
揚水不良の場合は、吸入ホースの接続をもう一度確認の上、運転してください。



〈注意〉	**吸入ホースはサクションホースを使用してください。** **ホースの接続には、製品付属のカップリング・ホースバンドをご使用の上、確実に取り付けてください。** **吸入ホース先端には必ず付属のストレーナーを取り付けてください。**

③ 燃料

⚠危険	**燃料は非常に引火しやすいため、取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。燃料の混合や給油時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。** **燃料がこぼれたら、きれいに拭き取ってから始動してください。**

⚠ 注意	**燃料補給の際は、必ずエンジンを停止して十分に冷却した後行ってください。**

燃料は **自動車用無鉛ガソリン** を使用してください。

付属のエンジン取扱説明書をよくお読みのうえ、
各作業を行ってください。

④ エンジンオイル

工場出荷時には、エンジンオイルは入っておりません。必ずエンジンオイルを入れてから始動してください。
エンジンを始動する前には、エンジンオイルが入っているか、または規定量入っているか確認してください。エンジンオイルが入っていない、または規定量より多くても少なくても故障の原因となります。

付属のエンジン取扱説明書をよくお読みのうえ、
各作業を行ってください。

⚠ 危険	**取り扱いを誤ると火災事故の原因となります。火気を絶対に近づけないでください。** **こぼれた時は、必ずきれいに拭き取ってください。**

⚠ 注意	**エンジンオイルの注油・補給・交換の際は、必ずエンジンを停止してから行ってください。停止直後はオイルの温度が高くなっていますので注意してください。**

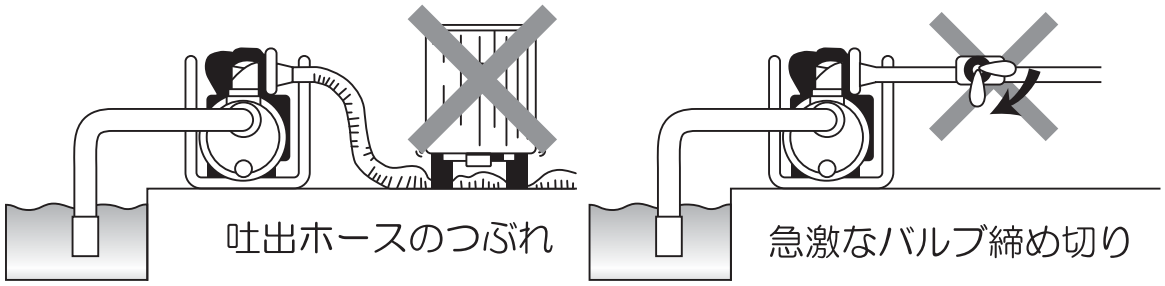
5. 使用方法

1. ポンプ内に呼び水が満水であることを確認してください。
2. 吸入ホース先端のストレーナーが水中にあることを確認してください。
（水底が泥・砂状の場合、ポンプに吸入しないよう、ストレーナーを水底より浮かせる等保護措置をとってください。）
3. 吐出ホース先端に障害物などがないのを確かめた上、エンジンを始動してください。

〈注意〉

ウォーターハンマー現象にご注意ください。

ポンプ運転中に吐出ホースを踏んだり、吐出側のバルブを急激に締め切ったりすると、瞬間的に大きな圧力がポンプケース内にかかります。これはウォーターハンマー現象と呼ばれ、ポンプ破損の原因となりますので、ご注意ください。

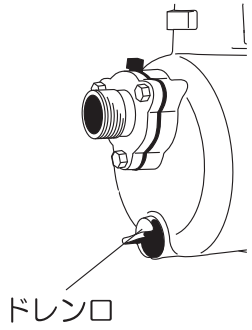


⚠ 注意

エンジンの操作方法ならびに注意事項については、同梱されているエンジンの取扱説明書をお読みください。

6. 使用後の注意

1. 使用後の排水を確実に
外気温が0℃以下になりますと、ケーシング内の水が凍結し、ポンプを破損させるおそれがありますので、使用後は必ずポンプケース下部のドレンロより排水してください。



2. 長期保存をするときは
1ヶ月以上、ポンプを使用しない場合は、燃料の変質による始動不良、または運転不良にならないように燃料を燃料タンクやキャブレターから抜き、湿気を避けて保管してください。

※ エンジンの注意事項については、エンジンの取扱説明書をお読みください。

⚠ 危険	**燃料は非常に引火しやすいため、取扱時には火気をさけ、タバコは吸わないでください。**

7. 症状及び原因と対処

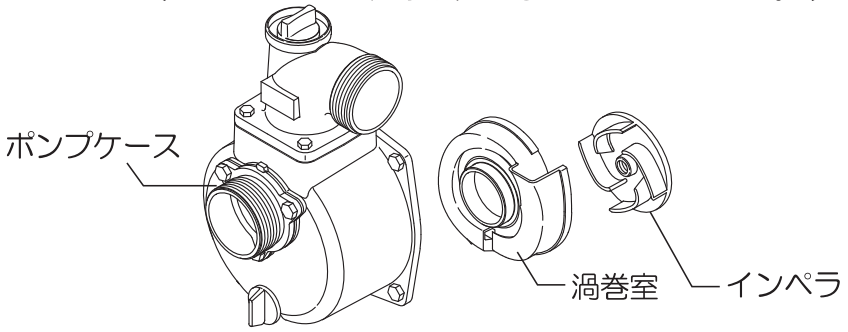
本機の調子が悪いときは、次の表にしたがって点検してください。
点検しても正常にならないときは、お求めの販売店か弊社営業所に修理を申し付けください。

〈症状〉	〈原因〉	〈対処〉
エンジンが始動しない	エンジンの取扱説明書を参照	エンジンの取扱説明書を参照
リコイルスターターが引けない、または重い	インペラの固着	分解掃除 ⇒ **処置**
揚水量が少ない	吸入側にてエアーの混入	吸入側の配管チェック
	エンジンの出力低下	点検・修理
	メカニカルシールの損傷	メカニカルシールの交換（修理）
	吸入揚程が高い	低くする
	吸入パイプが細いまたは長い	太くまたは短くする
	水路の漏水	漏れ止めをする
	インペラに異物がつまった	分解掃除 ⇒ **処置**
	インペラの磨耗	インペラ交換（修理）
自吸しない	吸入側にてエアーの吸い込み	吸入側の配管チェック
	ポンプケース内の呼び水不足	呼び水をする ⇒ **P.5呼び水は忘れずに参照**
	ドレンロのプラグの締め付け不良	締め付ける ⇒ **P.8使用後の注意参照**
	エンジンの回転不良	エンジンの取扱説明書を参照
	メカニカルシールの焼損	メカニカルシールの交換（修理）

処置

インペラの異物を取り除いてください。

（インペラは取り外さないでください。）



株式会社やまびこ

〒198-8760 **東京都青梅市末広町 1-7-2**　　**Tel 0428-32-6181**

やまびこジャパン株式会社

〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

北海道支社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

東北支社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

東日本支社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

中部支社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

西日本支社
〒701-0221　岡山県岡山市南区藤田566-159　　Tel 086-296-5911（代）

九州支社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

17-12 012294901

(C) 2017 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。